



公益財団法人  
マルホ・高木皮膚科学振興財団

# 令和 6 年度 事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1 日  
至 令和 7 年 3 月 31 日

公益財団法人 マルホ・高木皮膚科学振興財団

## 目 次

1. 事業報告書.....	1
(1) 公益事業の実施 .....	1
1) 皮膚科学に関する研究に対する助成事業の実施（研究助成事業） .....	1
2) 皮膚科学に関する大学講座への寄付事業の実施（奨学寄付事業） .....	4
3) 広報活動の実施.....	4
(2) 役員（理事・監事）、評議員 .....	5
2. 事業報告附属明細書 .....	6
(1) 理事会・評議員会・選考委員会開催状況.....	6
1) 令和6年度（2024年度） 理事会 .....	6
2) 令和6年度（2024年度） 評議員会 .....	7
3) 令和6年度（2024年度） 高木賞 選考委員会 .....	7
(2) 役員名簿 .....	8
(3) 評議員名簿 .....	8
(4) 選考委員名簿（選考委員名非開示） .....	8

## 1. 事業報告書

当財団は、「創造的な研究の奨励等に関する事業を行い、皮膚科学の発展と国民の健康福祉の増進に寄与する」ことを目的に平成 28 年（2016 年）2 月 3 日に設立され、皮膚科学に関する分野の研究を行う個人や団体に助成を行うことで、この分野の治療、研究の振興を図り、もって我が国の健康の促進と医療の発展に貢献したいと考える。

平成 29 年度（2017 年度）からは、定款第 4 条（事業）第 1 項第 1 号に掲げる「皮膚科学に関する研究に対する助成」事業を毎年度実施している。また、令和 6 年度（2024 年度）から、定款第 4 条（事業）第 1 項第 3 号に掲げる「皮膚科学に関する大学講座への寄付」事業を開始している。

### (1) 公益事業の実施

#### 1) 皮膚科学に関する研究に対する助成事業の実施（研究助成事業）

「個々の特筆すべき研究に対する研究助成」事業として、平成 28 年（2016 年）に高木賞、令和 4 年（2022 年）に高木賞臨床研究奨励賞を創設し、高木賞では、皮膚科領域における診断・予防・治療に直結する臨床研究、あるいは臨床に即した病態研究を対象に広く助成し、また、高木賞臨床研究奨励賞では、日頃の診療の中から生じる疑問を解決するため等、実地の臨床で実施される疫学調査や疾患の原因・背景因子調査等への助成に主眼を置き、日本国内における皮膚科学の発展に資する研究を支援している。

#### ① 第 8 回高木賞

令和 6 年（2024 年）4 月に以下に記載する高木賞受賞者 10 名及び高木賞臨床研究奨励賞受賞者 8 名に対し、助成金を交付した（所属・役職は応募時）。また、令和 6 年 4 月 13 日にザ・プリンスさくらタワー東京にて贈呈式を実施した。

#### ● 高木賞 500 万円助成（2 名 五十音順）

- ・理化学研究所 上級研究員 川崎 洋（45 歳）  
「アトピー性皮膚炎におけるバイオマーカーを活用した精密医療実現のための診療システム開発研究」
- ・筑波大学 医学医療系皮膚科 教授 乃村 俊史（45 歳）  
「変異 SERPINB7 の細胞外分泌不全に着目した長島型掌蹠角化症の病態解明」

#### ● 高木賞 250 万円助成（8 名 五十音順）

- ・大阪大学 皮膚免疫疾患治療学共同研究講座 特任講師 石塚 洋典（45 歳）  
「皮膚免疫の「Niche factor」としてのロリクリン」
- ・千葉大学大学院 医学研究院皮膚科学 教授 猪爪 隆史（50 歳）  
「白斑組織内と腫瘍組織内におけるメラノサイト抗原特異的 T 細胞の制御機構の相違の解明」
- ・産業医科大学 皮膚科学教室 教授 澤田 雄宇（44 歳）  
「細菌由来の短鎖脂肪酸を介したレジデントメモリー T 細胞を焦点としたエピソードによる炎症制御機構の解明」
- ・東邦大学医療センター 大森病院皮膚科 准教授 種瀬 啓士（48 歳）  
「悪性黒色腫細胞及びその腫瘍微小周囲環境の相互作用が腫瘍の浸潤・転移能獲得に及ぼす影響の解析と原発性悪性黒色腫の転移予測因子の探索」
- ・九州大学大学院 医学研究院皮膚科学分野 教授 中原 剛士（49 歳）

「アトピー性皮膚炎における細胞外 ATP を介した細胞間相互作用の解析と治療応用」

- ・熊本大学大学院 生命科学研究部皮膚病態治療再建学講座 教授 福島 聡 (49 歳)

「腫瘍微小環境の制御を目指した iPS 細胞由来マクロファージ療法」

- ・慶應義塾大学 医学部皮膚科学教室 准教授 舩越 建 (47 歳)

「乳房外 Paget 病 in situ 病変の病態機構の解明と新規治療法開発」

- ・北海道大学病院 皮膚科 助教 渡邊 美佳 (40 歳)

「皮膚疾患の統合的理解における上皮幹細胞記憶の役割」

● 高木賞臨床研究奨励賞 50 万円助成 (8 名 五十音順)

- ・長崎大学病院 助教 岩永 聡 (42 歳)

「弾性線維性仮性黄色腫の病態メカニズム解明に向けた mRNA シークエンス解析研究」

- ・山梨大学大学院 総合研究部医学域皮膚科学講座 臨床助教 木下 真直 (35 歳)

「SJS/TEN 早期迅速診断キット開発とオールジャパン体制の構築」

- ・京都大学大学院 医学研究科皮膚科学講座 特定講師 小亀 敏明 (44 歳)

「円形脱毛症における MZBI 陽性細胞が病勢マーカーとして機能し得るかの検討」

- ・信州大学 医学部皮膚科 助教 中村 謙太 (40 歳)

「加齢に伴うがん関連線維芽細胞の CXCL12 と CCL5 を介した腫瘍免疫抑制の解明」

- ・国際医療福祉大学成田病院 皮膚科 助教 乗松 雄大 (34 歳)

「皮膚疾患におけるキャピラロスコーピー所見の検討」

- ・泉中央皮膚科クリニック 院長 原 正啓 (65 歳)

「皮膚科診療所における尋常性疣贅治療の疫学調査」

- ・北海道大学病院 皮膚科 助教 前田 拓哉 (34 歳)

「ポリコナゾール誘発有棘細胞癌検体を用いた早期有棘細胞癌の層別化」

- ・名古屋大学附属病院 皮膚科学分野 助教 桃原 真理子 (37 歳)

「Immunoprecipitation-liquid chromatography-tandem mass spectrometry を用いた自己抗原の網羅的解析」

② 第 9 回高木賞

令和 6 年 (2024 年) 8 月に医育機関名簿に基づき全国医育機関 179 か所の皮膚科教授/部長宛に高木賞募集要項を送付し、同年 10 月 1 日から 11 月 30 日までの間に高木賞として合計 17 件、高木賞臨床研究奨励賞として 10 件の応募を受けた。

応募を受けた案件は、6 名の選考委員により「研究の科学的新規性」、「研究の臨床医学へのインパクト」、「研究方法及びその計画の妥当性 (倫理性を含む)」、「皮膚科臨床に対する直結度」を勘案して 5 段階評価により審査された。これらの結果については令和 7 年 (2025 年) 2 月 6 日の選考委員会での審議を経て、同年 3 月 7 日の理事会にて、以下に記載する高木賞受賞者 8 名、高木賞臨床研究奨励賞受賞者 10 名を決定した (所属、役職及び年齢は応募時)。同年 4 月以降に、各施設の指定の方法に従い助成金を交付する。

なお、令和 7 年 (2025 年) 4 月 19 日にザ・プリンスさくらタワー東京にて第 9 回高木賞の贈呈式を実施する予定である。

● 高木賞 500 万円助成 (2 名 五十音順)

- ・京都大学大学院 特定准教授 中溝 聡 (42 歳)

「血管内皮細胞による免疫記憶機構の解明」

- ・理化学研究所 生命医科学研究センター 上級研究員 福田 桂太郎 (44 歳)  
「先天性魚鱗癬の角層 pH 制御異常機構の解明と治療開発」
- 高木賞 250 万円助成 (6 名 五十音順)
  - ・山形大学 医学部皮膚科学講座 助教 岡村 賢 (38 歳)  
「空間トランスクリプトーム解析を用いた白斑の病態の包括的理解」
  - ・熊本大学大学院 生命科学研究部 特任准教授 梶原 一亨 (45 歳)  
「臨床実装を目指した皮膚がんにおける liquid biopsy の包括的探索」
  - ・東京大学大学院 医学系研究科皮膚科 准教授 住田 隼一 (44 歳)  
「リゾリン脂質の皮膚疾患における多彩な機能解明」
  - ・帝京大学 医学部皮膚科学講座 助教 戸村 八蓉生 (37 歳)  
「DNA クロマトグラフィー法を用いた皮膚感染症起因菌 multiplex 検出法の開発」
  - ・大阪公立大学大学院 講師 廣保 翔 (41 歳)  
「高頻度分裂表皮幹細胞による毛包間色素細胞の局在制御機構の解明」
  - ・順天堂大学大学院 医学研究科皮膚科学アレルギー学 准教授 吉原 渚 (43 歳)  
「円形脱毛症におけるオートファジー機能の解析」
- 高木賞臨床研究奨励賞 50 万円助成 (10 名 五十音順)
  - ・浜松医科大学 助教 小倉 康晶 (33 歳)  
「掌蹠膿疱症における T 細胞サブセット変化とその治療反応性に関する研究」
  - ・自治医科大学 准教授 神谷 浩二 (42 歳)  
「水疱性類天疱瘡の炎症病態における IL-20 subfamily 発現の検討」
  - ・旭川赤十字病院 皮膚科部長 木ノ内 基史 (62 歳)  
「治療法選択による帯状疱疹関連痛持続期間ならびに帯状疱疹後神経痛発症への影響  
— 2 施設における過去 10 年の治療経過の解析から —」
  - ・金沢医科大学 教授 清水 晶 (54 歳)  
「難治性足底疣贅に関連する HPV の検出 ～リアルタイム PCR 法開発に向けた疫学的探索～」
  - ・福岡病院 医長 杉山 晃子 (44 歳)  
「夜間の痒み、掻破行動 (掻き行動) と心理的ストレスおよび心身の発達との関連について：ウ  
ェアラブル機器を用いた脳波、心拍変動、掻破行動データの包括的解析プログラムの開発」
  - ・名古屋大学医学部附属病院 助教 滝 奉樹 (38 歳)  
「皮膚血管肉腫に対するプラズマ活性化乳酸リンゲル液を用いた新規治療戦略」
  - ・筑波大学 准教授 中村 貴之 (45 歳)  
「機械学習を用いた乳房外 Paget 病における病変範囲予測システムの構築」
  - ・新潟大学医歯学総合病院 講師 林 良太 (40 歳)  
「薬剤性過敏症症候群における紫斑、顔面浮腫の形成機序の解明」
  - ・奈良県立医科大学 講師 宮川 史 (54 歳)  
「薬剤性過敏症症候群と他疾患におけるサイトメガロウイルス感染症のリスク因子の相  
違の検討」
  - ・昭和大学 助教 三輪 祐 (46 歳)  
「マイクロバイオーームによる免疫関連有害事象の発症リスク評価と予防への取り組み」

### ③ 高木賞受賞者の研究成果の公表

第5回高木賞受賞者からの研究成果を報告書集として冊子化し、国内の皮膚科学関連の医薬学系学部・研究科を有する大学等への配布及び国立国会図書館、科学技術振興機構ならびに医学中央雑誌刊行会への納本により公表した。

また、第6回高木賞の助成期間が令和6年(2024年)3月末日に満了したため、第6回高木賞受賞者から収支報告書、研究結果報告書を12月末までに入手した。今後、研究結果報告書集として冊子化・公表する。

## 2) 皮膚科学に関する大学講座への寄付事業の実施(奨学寄付事業)

「皮膚科学研究のすそ野を広げる・維持するための奨学寄付」事業として、令和6年(2024年)より奨学寄付事業を開始し、皮膚科学を研究する大学講座及びその附属病院等の診療部門に対し、広く、継続的に研究資金を提供することにより、日本国内における皮膚科学の発展に資する研究を支援している。

### ① 令和6年(2024年)奨学寄付の公募

皮膚科学を研究する大学の講座及びその附属病院等の診療部門に対し、奨学寄付事業に関する募集要項を配布し、令和6年(2024年)4月1日より、奨学寄付公募システムによる受付を開始した。

応募締め切りの令和6年(2024年)5月31日までの受付件数は、105施設であった。このうち、応募時の要件確認で5施設を除外した(皮膚科標榜施設以外からの申請2施設、重複申請2施設、寄付講座からの申請1施設)100施設を奨学寄付対象施設とした。

なお、これら一連の作業及び以後の施設との連携業務のためマルホ株式会社との業務委託契約を見直し、事務局業務を拡充した。

### ② 寄付先・奨学寄付金の決定及び納付手続き

奨学寄付金は、事前に定めた評価基準に従い、各大学の講座・診療部門を順位付けし、上位5施設に対し、200万円、次の15施設に対し150万円、次の40施設に対し100万円(内1施設は希望金額が50万円)、次の30施設に対し50万円(内1施設は希望金額が30万円)、次の10施設に対し25万円の総額8,930万円が令和6年(2024年)8月19日の臨時理事会で承認された。

令和6年(2024年)10月1日のマルホ株式会社からの用途を奨学寄付事業に限定した寄付の受け入れを確認し、各大学の講座・診療部門に対する奨学寄付納付手続きを開始し、令和7年(2025年)2月1日までにすべての手続きを完了した。なお、東北医科薬科大学は教授退任に伴い、奨学寄付を辞退する旨の連絡があり、奨学寄付は行わなかった。

### ③ 研究報告の入手

令和7年(2025年)3月から令和6年度(2024年度)分の奨学寄付を用いた研究報告の受け入れを開始した。

### ④ 令和7年(2025年)奨学寄付の公募準備

令和7年(2025年)4月1日より、令和6年度(2024年度)分の研究報告を提出した施設に対して奨学寄付公募システムによる受付を開始する。

## 3) 広報活動の実施

### ① 第5回高木賞 研究結果報告書冊子

第5回高木賞の研究結果報告書集を第9回高木賞募集要項とともに医育機関名簿に基づき

全国医育機関 179 か所の皮膚科教授/部長宛に送付し、広報活動の一環とした。

② 第 9 回高木賞の告知

上述のように第 9 回高木賞の募集を国内の皮膚科学関連の医薬系学部・研究科に案内するとともに、日本皮膚科学会誌 134 巻第 10 号、11 号及び日本臨床皮膚科医会雑誌に第 9 回高木賞の募集要項を掲載の上、日本皮膚科学会のホームページに周知案内を掲載いただいた。

さらに、9 月から 11 月にかけての皮膚科関連学会でのポスター掲示・募集要項配布を通じ、マルホ・高木皮膚科学振興財団と高木賞についての広報活動を実施した。

③ 財団ホームページの活用

第 8 回高木賞の贈呈式、第 9 回高木賞の助成案内及び受賞者を財団ホームページに掲載した。また、第 40 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会（宇都宮）ポスター賞協賛・受賞者掲載及び第 41 回臨床学術大会（金沢）のポスター賞協賛をホームページ上に公開した。

④ 日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会 ポスター賞

国内の臨床現場の皮膚科医に対する当財団、高木賞の認知度向上のため、令和 3 年度（2021 年度）より日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会のポスター賞に対し協賛（財団から副賞として盾と賞金を贈呈）し、臨床現場での研究を推進するとともに財団の広告活動としても活用している。第 37 回臨床学術大会（東京）にて試行的に参画し、第 38 回臨床学術大会（鹿児島）のポスター賞から正式に協賛した。

令和 6 年度（2024 年度）も第 40 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会の事務局と打合せを行い、ポスター賞に協賛し、本件の臨床学術大会のホームページへの掲載、会期中の授賞式、受賞者への財団からの盾・賞金の贈呈を広報活動の一助とした。

引き続き、令和 7 年（2025 年）4 月 5、6 日開催の第 41 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会にて決定されるポスター賞への協賛を継続する。

(2) 役員（理事・監事）、評議員

令和 7 年（2025 年）3 月 31 日現在の理事・評議員数

- ・役員 理事 11 名、監事 2 名
- ・評議員 7 名

## 2. 事業報告附属明細書

### (1) 理事会・評議員会・選考委員会開催状況

#### 1) 令和6年度（2024年度） 理事会

##### ① 臨時理事会 令和6年4月19日（決議の省略の方法により実施）

議題	内容
<決議事項>	
1) 保有株式（マルホ株式会社）の議決権行使	マルホ株式会社 株主総会の議決権行使について賛成とすることが承認された

##### ② 第1回定例理事会 令和6年5月24日

議題	内容
<決議事項>	
1) 令和5年度事業報告書および財務諸表等について	令和5年度の事業報告書・財務諸表等が承認された
2) 第9回高木賞 選考委員選任について	第9回高木賞選考委員につき承認された
3) 第9回高木賞 募集要項について	第9回高木賞の募集要項につき承認された
4) 令和6年度 定時評議員会招集について	定時評議員会招集につき承認された
<報告事項>	
1) 職務執行状況の報告	理事長、常務理事の職務執行状況につき報告された

##### ③ 臨時理事会 令和6年6月21日（決議の省略による方法により実施）

議題	内容
<決議事項>	
1) 保有株式の議決権行使について（株式会社リニカル）	株式会社リニカル 株主総会の議決権行使について賛成とすることが承認された
2) 旅費規程の改定について	旅費規程の改定について承認された

##### ④ 臨時理事会 令和6年8月19日

議題	内容
1) マルホ株式会社保有株式の議決権行使について	マルホ株式会社 株主総会の議決権行使について賛成とすることが承認された
2) 奨学寄付金事業 寄付先・寄付金額（事務局案）の決定	奨学寄付金事業 寄付先・寄付金額（事務局案）の決定について承認された
3) 奨学寄付金交付内規の改定について	奨学寄付金交付内規の改定について承認された
4) マルホ株式会社への奨学寄付金事業報告及びマルホ株式会社からの奨学寄付金原資の受取	マルホ株式会社へ奨学寄付金事業内容を報告しマルホ株式会社からの奨学寄付金原資の受取について承認された
<報告事項>	
職務執行状況の報告	理事長、常務理事の職務執行状況につき報告された

⑤ 臨時理事会 令和6年12月18日（決議の省略の方法により実施）

議題	内容
<決議事項>	
1) 保有株式（マルホ株式会社）の議決権行使	マルホ株式会社 株主総会の議決権行使について賛成とすることが承認された

⑥ 第2回定例理事会 令和7年3月7日

議題	内容
<決議事項>	
1) 第9回高木賞受賞者の決定について	第9回高木賞の受賞者について承認された
2) 第10回高木賞選考委員及び選考委員長の選任について	第10回高木賞の選考委員、選考委員長選任について承認された
3) 令和7年度事業計画書及び収支予算書等について	令和7年度の事業計画、収支予算書等について承認された
<報告事項>	
1) 職務執行状況の報告	理事長、常務理事の職務執行状況が報告された

2) 令和6年度（2024年度） 評議員会

● 定時評議員会 令和6年6月14日

議題	内容
<特別決議事項>	
1) 定款の変更について	定款の変更につき承認された
<決議事項>	
1) 令和5年度事業報告書及び財務諸表等について	令和5年度事業報告書及び財務諸表等について承認された
<報告事項>	
1) 奨学寄付事業の開始について	奨学寄付事業の開始について報告された
2) 第9回高木賞 募集要項について	第9回高木賞募集要項について報告された
3) 第8回高木賞贈呈式の実施について	第8回贈呈式の実施について報告された

3) 令和6年度（2024年度） 高木賞 選考委員会

● 第9回高木賞 選考委員会 令和7年2月6日（WEBにより実施）

令和6年（2024年）10月1日から11月30日の間に応募のあった高木賞17件案件、高木賞臨床研究奨励賞10案件について、6名の選考委員が評価（令和6年（2024年）12月～令和7年（2025年）1月実施）を行った。その集計表に基づき選考委員会を開催し、8件の高木賞候補者、10件の高木賞臨床研究奨励賞候補者を選択のうえ、令和7年（2025年）3月7日開催の第2回定例理事会に上程した。

(2) 役員名簿

【理事：11名・監事2名】

【任期（理事）：令和5年6月9日から令和7事業年度に係る定時評議員会の終結の時まで】

【任期（監事）：令和5年6月9日から令和9事業年度に係る定時評議員会の終結の時まで】

役職名	氏名	備考
理事長	高木 幸一	創業家、マルホ株式会社 相談役
常務理事	愛宕 栄彦	マルホ株式会社
理事	川島 眞	東京女子医科大学名誉教授
	川島 義治	公益財団法人宮川庚子記念研究財団 理事
	黒澤 和平	元 藍野大学 医療保健学部長／公益財団法人興亜育英会 評議員
	今野 清隆	元 日本新薬株式会社 執行役員
	昌子久仁子	神奈川県立保健福祉大学 教授
	富田 圭子	近畿大学農学部 准教授
	原 拓志	関西大学商学部 教授、神戸大学名誉教授
	前田 誠二	元 マルホ株式会社 取締役
	村松 音和	創業家、マルホ株式会社
監事	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 代表社員
監事	濱岡 峰也	清和法律事務所 弁護士

(3) 評議員名簿

【評議員：7名】

【任期：令和5年6月9日から令和9事業年度に係る定時評議員会の終結の時まで】

【\*任期：令和3年6月11日から令和7事業年度に係る定時評議員会の終結の時まで】

役職名	氏名	備考
評議員	今井 良平	京都パートナーズ株式会社 代表取締役社長
	上島 悦子	大阪大学名誉教授
	富田 裕	マルホ株式会社 取締役
	平野 光俊	大手前大学学長、神戸大学名誉教授
	藤村 昭夫	自治医科大学名誉教授
	宮井 宏	元 パナソニック株式会社
	安井 清*	元 マルホ株式会社 執行役員

(4) 選考委員名簿（選考委員名非開示）

【選考委員：6名】

【任期：令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）】

以上